

災害情報研究会 R1(H31)年度 第9回会議事録

日時： 令和2年2月21日(金) 15:00-17:30

会場： BCAO 事務所 B1 会議室

出席者： (5名：敬称略・順不同)

市川 (レスキューナウ危機管理研究所)

水落 (NEC ソリューションイノベータ)

野田 (アジア航測)

前田 (AIG 損保)

高橋 (インフォコム、書記)

議事： 新型コロナウイルスについて (緊急情報打ち合わせ)

1) クルーズ船 (閉鎖空間) について... 会社の閉鎖について

1フロア 100人 x 10フロアの会社の例

インフルエンザで1週間課が閉鎖された事例がある。課閉鎖 (学級閉鎖)、部閉鎖 (学年閉鎖)、拠点閉鎖 (学校閉鎖) 出社禁止の%を決めておく必要がある。感染が強いが強毒ではない場合の閉鎖が甘い。

対人での広がりがあるので、閉鎖が対策としては一番早い

クレベリンの話 (6年前に効かないという話があったが効果がある)

2) 飛行機の空気循環について

飛行機の空気は非常にきれいである。ダウンフローで窓側から真ん中に向かって循環しているが半分を床下から抜いている。前後には空気の循環は無い。電車の場合は、座っている人が一番安全。ドア前が空気が悪い。花粉症バッチを作ったら売れるのではないか? (風邪かどうかわからないため)

3) ウィルスは何日死なないか?

つつつした場所は、12時間から24時間、布とか水分をとる場合は4時間くらい。新型コロナウイルスはもっと長いようである。受付の電話が最も汚いかもしれない。

4) 予防策について

マスク、手袋について、防じんマスクは「防じん」が正しい、「防塵」と書かれているのは正式ではない。排気弁付きのものは、感染症には使えない。

アスベストには、防じんマスクでなければ利用できない。

5) 情報提供

1. BCAO から新型コロナウイルス対応 BCP が発表されている。

2. クルーズ船は隔離のやり方に問題があったのではないか? 最初はここま

でになるとは誰も思えなかった。船員も入れ替えができなかった。船は入港拒否が出来ないという事もある。

3. 市川さん) 1月19日の時点で1月16日からの情報を元に40個のプロトコルを作成した。これを使って訓練をしてもらうという事で作成をした。今日の時点で確認したところ、25個が実際に起こっていた。毎週更新しているがかなり正確に合っている。現在 Ver 5。IT 企業が在宅勤務とか実際に起こっている。会議が終わったら、会議室の机を拭くなども考える。これから、ビジネス縮小期となっていく。ATMがいっぱいになる(現金を手元に置きたい)パニックになっている。
4. 自分の会社で新型コロナウイルス患者が出た場合どうするか?BCPでの戦略をかんがえる(休止か継続か?)在宅勤務も平常時から準備をしていなければ、実施できない。時差出勤やすいている普通電車に乗るなども考える。テレワークも平常時から決めておく。和歌山の院内感染があったので、2週間オフィス閉鎖をした。病院への営業をやっている会社では、感染者を受け入れている病院へ行かせるか、どうかも検討が必要。
5. テレワークの為のオフィスの消毒は?サテライトオフィス(シェアオフィス)も危険かも。
6. 大学での卒業式、入学式はどうするか?キャンセル料はどうするか?も問題である。1か月前でも100%。訓練もキャンセルが相次いでいる。
7. 新型コロナウイルスの情報は嘘の情報も多い。ジェットタオルの効能はどうなのか?ダウブローの方が安全な気がする。手を洗わないよりもある方がまし?

今回はこのような、新型コロナウイルスに関する話題提供を行った。

次回： 2020年3月13日(金) 15:00~17:00

地震発生から3時間以降の被害情報を作成する。

宿題： 先月からの引き続き：被害情報を作成した場合は、ファイル名に名前を付け、次回研究会までにサイボウズの指定フォルダに登録する。

以上